

平成 24 年 11 月 20 日 00093 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【事務局情報】中学校武道必修化への安全指導協力 柔道の外部指導者と指導者間の意思疎通を図る打ち合せ会議を開く

11月8日(木)14:00よりNPO法人北見市武道振興協会事務局において、北見市東陵中学校の比留間信一教頭、相楽典子体育教諭と北見市柔道協会の外部指導者(佐藤壽春会長)が、11月末予定の、北見市東陵中学校での体育授業(柔道)指導に関する1回目の打ち合せを行い、11月16日(金)19:00には市立体育センター(第2)で実技と2回目打ち合せが行われました。



## 【第17回北見市総合武道祭レポート】④少林寺拳法 武道祭参加拳士の声

- 小学低学年 初めての参加ですごく緊張した。でもたくさん稽古したので少しか失敗もしたけれど、うまくできたと思う。
- 小学高学年 今回で3回目の参加ですが、今回は、初めて法衣を着て演武したけれど受身のときは動きづらかったです。相対演武では、いつもの通り気合を出して6構成しっかり出来たと思う。
- 高校生 毎回参加していますが、今回は、稽古があまりできない状況での参加でした。単独演武では順番を間違えないようにと、途中ぎこちないところもあったが、気合でカバーし、なんとかクリアした感じです。次回はしっかり稽古を積んで余裕のある演武を披露したいです。
- 道院長 前回からすると参加拳士がすくなく、ほとんど小学生ばかりの構成での演武披露でしたが、少数はそれなりの表現があるので、日頃の稽古も少林寺拳法の思想に基づき協調性のある演武を心掛けました。



当日は普段なかなか気合が出ない拳士も、会場独特の雰囲気から必然的に気合が出て、動きも良く、全体的には少数精鋭で迫力のある演武になりました。

今回参加した拳士は、大きな自信につながったのではないかと思います。

## 連載【週刊氷川丸】⑪サンフランシスコ平和条約と氷川丸

1951(昭和26)年9月8日、連合国側48カ国と日本との対日平和条約調印式がサンフランシスコのオペラハウスで午前10時(現地時間)から開催され、11時30分、日本首席全権・吉田茂首相が署名、翌年昭和27年4月28日に条約が発効して日本は6年8ヶ月に及ぶ占領から開放されました。氷川丸は対日平和条約調印のその日、戦後再開された日本郵船のニューヨーク航路第二船としてサンフランシスコに停泊していました。条約調印後に開催された祝賀会用の日本酒や、その他の品物を積んで入港していました。その前日、吉田首相は丘の上から日章旗を掲げていない氷川丸を見て、「早く講和条約を調印しなければ」とつぶやいたといひます。つづく 次週は氷川丸最後の航海をお伝えします



サンフランシスコ港にて吉田茂元首相と氷川丸